

二又Aチームが総合優勝

第23回町内駅伝大会

風雨のなか全チームが完走

2月11日、第23回町内駅伝大会が行われ、

一般の部では二又Aチームが、中学生の部では男女とも陸上部Aチームが、小学生の部では白浜スポーツ少年団Aチームが優勝しました。

今大会は、総勢55チーム（一般28・中学生男子15・中学生女子5・小学生7）が参加し、風雨の中で行われましたが、悪コンディションにもかかわらず選手たちは、町民の声援を受け、頑張っていました。



優勝のテープをきる二又Aチーム斉藤選手

有意義な駅伝大会になるように

当日は午前9時30分から町体育館で開会式が行われ、前年度優勝の東食チームから優勝杯が返還、主催者を代表して斉藤町長が「悔いのない駅伝大会になるように」とあいさつ。続いて、市原体育協会

会長が自分の選手時代の経験を踏まえ「選手皆さんの力走と全チームの完走を期待します」とあいさつ。最後に参加選手を代表して、中学校2年生の向後哲郎君が力強く選手宣誓をしました。

練習の成果を十分発揮した二又Aチーム

午前10時、選手たちは役場前広場を一齐にスタート。この大会は、役場前広場をスタート・ゴールとする全長14.8kmを5区間（中学生女子と小学生は6区間）に区切ってタスキを引き継ぎました。

風雨の中、選手の皆さんは悪戦苦闘しているようでしたが、その中で二又Aチームは選手全員が日頃の成果を十分発揮し、第2区から先頭に立ち、そのままタスキを引き継ぎ、独走で決勝のテープを切りました。その他のチームで

も、すばらしい選手がそろい、特に平山雅英さん（長塚チーム）は第9回大会以来の記録になっていた第5区の区間記録を14年ぶりに更新するなど、悪天候に負けない有意義な大会となりました。

また、当日は食肉センター間屋協会（会長 印南燕二氏）から豚肉が寄贈され、ボランティア団体「あじさい」の皆さんによる豚汁サーブが行われ、戦い終わった選手の皆さんに大変好評でした。